

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 東員町	対談項目1 RDF事業を推進した県の責任		RDF運営協議会の総会が就任前に開催されて以来1度も開催されていない。1年に1度は開催されるべきであると何度も言っている中、理事会の開催を新聞で知った。県としての責任、役割をきちんと果たしてほしい。	連絡の不備について、コミュニケーション不足があったことは申し訳ないと思います。今後の定期開催についてもご指摘いただかないように改善していきます。中身については協議会の中で県も参画して議論していきます。 就任して最初の組織改正で、RDF・広域処理推進監を設けているが、コミュニケーションの窓として設置したつもりでありましたのに、組織全体として、そういうふうに来ていないので、改めて直していきたいと思います。
2 東員町	対談項目2 県道整備に係る県の役割	旧365号の町道移管について	旧365号の町道移管にあたっては、このままでは受け取れない。拡幅した部分を県が又借りしていて、それを町に移管されると、後で地権者から町が買わないといけないという問題が生じてくる。最終的に最後の処理まで考えた行政を県にしていきたい。	案件を確認します。 一般論で、その時の行政行為を考えがちであると思うので、状況を確認して相談させていただければと思います。
3 東員町	対談項目2 県道整備に係る県の役割	県道桑名東員線について	役場の前がクラックになっており朝晩に渋滞しており、今だと優先順位が低い、イオンのオープンと2年後に東員インターが出来たら状況はがらりと変わる。案は出すので今後の優先順位を上げていただきたい。	信号がいいのか、他の誘導がやり方がいいのか、右左折レーンを作って渋滞を緩和させるのかなど、町と相談しながら今後の対応を考えて行きます。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 東員町	対談項目2 県道整備に係る県の役割	県道桑名大安線について	橋の架け替えを何年もやっているが、そこ自体がクランクになっている。できるだけ早く、真っ直ぐ開通させてほしい。	発言なし。
5 東員町	対談項目3 農業と共生したまちづくりにおける県の支援	担い手への技術的な支援	町では持っていない力を貸していただきたい。自立できる農業、付加価値を付けていくような農業、やる人が喜びを持てるような農業を進めていきたい。県であれば技術センターや普及所など専門機関があるので、そういう技術を町が借りられる制度を作ってもらえるようお願いしたい。	付加価値のあるイチゴやトマトなどで農業研究所で研究を進めているところです。仕組みとして、県がストックとして持っている技術を市町が使えるような仕組みはまだ研究されていないと思いますので、やり得るかどうかも含めて検討してみたいと思います。仕組みが出来上がるまでの間は、普及センターのメンバーが技術的なサポートをさせていただきます。
6 東員町	対談項目3 農業と共生したまちづくりにおける県の支援	農振農用地の規制緩和	農産物を売る場所について、人の来るところへ持って行って売りたいが、農地で規制がかかっている。不自由な思いをしているので規制緩和の支援をお願いしたい。	国の地方分権改革有識者会議に農地農村部会ができて、全国知事会の代表として、権限委譲や規制緩和について、想定される事例として東員町の事例を紹介し要望してきました。引き続き国の方へも言っていきたい。
7 東員町	(当日追加項目)	出先と本庁の意思疎通	保安林について、出先の情報と本庁の情報に違いがあったことがある。県の組織として、出先と本庁の関係について一度議論していただきたい。	発言なし。